

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

平成 24 年 3 月期（平成 23 年度）第 1 四半期決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 24 年 3 月期（平成 23 年度）第 1 四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 24 年 3 月期第 1 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）連結業績

資金調達費用や経費が前年同期比減少した一方で、金利環境の変化に伴う金融派生商品収益の減少や役員取引等収益の減少等により、経常利益、四半期純利益とも前年同期比減益。

譲渡性預金を含む預金等の期末残高は個人預金、法人預金、公金預金がいずれも増加し、前年同期末比 932 億円（4.5%）増加の 2 兆 1,504 億円。貸出金の期末残高は個人向け貸出、事業性貸出、地方公共団体向け貸出がいずれも増加し、前年同期末比 466 億円（3.3%）増加の 1 兆 4,439 億円となった。

			番号	フィデアHD			
				前年同期	前年同期比	同増減率	
【連結】	損 益	経常収益	(1)	12,010 百万円	13,082 百万円	△ 1,072 百万円	△ 8.1 %
		連結粗利益	(2)	9,793 百万円	10,567 百万円	△ 774 百万円	△ 7.3 %
		経常利益	(3)	1,951 百万円	2,696 百万円	△ 744 百万円	△ 27.6 %
		四半期純利益	(4)	1,083 百万円	1,528 百万円	△ 445 百万円	△ 29.1 %
【連結】	主要勘定残高 (末 残)	総資産	(5)	22,831 億円	22,062 億円	769 億円	3.4 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(6)	21,504 億円	20,571 億円	932 億円	4.5 %
		貸出金	(7)	14,439 億円	13,972 億円	466 億円	3.3 %
		有価証券	(8)	6,164 億円	6,185 億円	△ 21 億円	△ 0.3 %
【合算】	不 良 債 権	金融再生法開示債権額	(9)	41,186 百万円	39,224 百万円	1,962 百万円	5.0 %
		総与信に占める割合	(10)	2.78 %	2.76 %	0.02 %	

(2) 平成 24 年 3 月期連結業績予想

統合効果等による経費削減の進捗状況、及び有価証券関連損益やグループ連結の貸倒償却引当費用の見通しを精査した上で、当初業績予想を上方修正いたします。

		番号	第2四半期累計期間			通期		
			前年同期比	同増減率		前期比	同増減率	
フィデアHD(連結)	経 常 収 益	(11)	23,500 百万円	△ 2,217 百万円	△ 8.6 %	47,500 百万円	△ 5,217 百万円	△ 9.8 %
	経 常 利 益	(12)	2,700 百万円	△ 890 百万円	△ 24.8 %	6,200 百万円	1,146 百万円	22.6 %
	当期(中間)純利益	(13)	1,600 百万円	△ 682 百万円	△ 29.8 %	3,800 百万円	125 百万円	3.4 %

(次ページへ)

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

フィデアホールディングス IRグループ 大石 TEL : 018-833-4211
佐藤 TEL : 023-626-9006

2. 荘内銀行

(1) 平成 24 年 3 月期第 1 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）単体業績

有価証券売却益や手数料収益の減少で減収となったものの、資金利益の増加や経費の減少等によりコア業務純益が前年同期比 25.0%増加、経常利益、四半期純利益はともに前年同期比ほぼ横ばい。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し、前年同期比 608 億円（6.5%）増加の 9,910 億円。中期経営計画目標 1 兆円に向けて順調に推移。貸出金残高は、個人、法人、公共部門向けがそれぞれ増加し、前年同期比 403 億円（5.5%）増加の 7,645 億円となった。

金融再生法開示債権額は震災の影響を保守的に織り込んだことで前年同期比増加し、総与信に占める割合は 2.97%となった。

		番号	荘内銀行	前年同期	前年同期比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(14) 5,899 百万円	6,052 百万円	△ 152 百万円	△ 2.5 %
		業務純益	(15) 1,439 百万円	1,349 百万円	89 百万円	6.6 %
		コア業務純益	(16) 1,591 百万円	1,272 百万円	318 百万円	25.0 %
		経常利益	(17) 1,086 百万円	1,124 百万円	△ 38 百万円	△ 3.3 %
		四半期純利益	(18) 607 百万円	625 百万円	△ 18 百万円	△ 3.0 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(19) 9,910 億円	9,302 億円	608 億円	6.5 %
		貸出金	(20) 7,645 億円	7,241 億円	403 億円	5.5 %
		有価証券	(21) 2,335 億円	2,407 億円	△ 71 億円	△ 2.9 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(22) 23,289 百万円	17,102 百万円	6,187 百万円	36.1 %
		総与信に占める割合	(23) 2.97 %	2.30 %	0.67 %	

(2) 平成 24 年 3 月期単体業績予想

		番号	第2四半期累計期間			通期		
				前年同期比	同増減率		前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常収益	(24)	11,000 百万円	△ 1,808 百万円	△ 14.1 %	22,000 百万円	△ 3,264 百万円	△ 12.9 %
	経常利益	(25)	1,500 百万円	△ 397 百万円	△ 20.9 %	2,900 百万円	378 百万円	15.0 %
	当期(中間)純利益	(26)	800 百万円	△ 279 百万円	△ 25.8 %	1,600 百万円	194 百万円	13.8 %

(当初業績予想を上方修正しております。)

(次ページへ)



3. 北都銀行

(1) 平成 24 年 3 月期第 1 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）単体業績

資金調達費用が前年同期比減少した一方で、金利環境の変化に伴う金融派生商品収益や有価証券利息配当金の減少等により、経常利益、四半期純利益とも前年同期比減益。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金等が増加し、前年同期比 338 億円（2.9%）増加の 1 兆 1,693 億円。貸出金残高は保証協会付復旧支援資金を中心に法人向けが増加したほか、地方公共団体等向け貸出が増加し、前年同期比 198 億円（2.9%）増加の 6,850 億円となった。

金融再生法開示債権は、北都ソリューションズのノウハウを活かした企業再生への取組みが奏功し、前年同期比 42 億円（19.0%）減少の 178 億円、総与信に占める割合は 2.57%となった。

		番号	北都銀行	前年同期	前年同期比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(27) 5,642 百万円	6,402 百万円	△ 760 百万円	△ 11.8 %
		業務純益	(28) 1,191 百万円	2,044 百万円	△ 853 百万円	△ 41.7 %
		コア業務純益	(29) 820 百万円	1,759 百万円	△ 939 百万円	△ 53.3 %
		経常利益	(30) 821 百万円	1,624 百万円	△ 803 百万円	△ 49.4 %
		四半期純利益	(31) 490 百万円	958 百万円	△ 468 百万円	△ 48.8 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(32) 11,693 億円	11,354 億円	338 億円	2.9 %
		貸出金	(33) 6,850 億円	6,652 億円	198 億円	2.9 %
		有価証券	(34) 3,927 億円	3,975 億円	△ 47 億円	△ 1.1 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(35) 17,896 百万円	22,121 百万円	△ 4,225 百万円	△ 19.0 %
		総与信に占める割合	(36) 2.57 %	3.26 %	△ 0.69 %	

(2) 平成 24 年 3 月期単体業績予想

		番号	第2四半期累計期間			通期		
				前年同期比	同増減率		前期比	同増減率
北都銀行(単体)	経常収益	(37)	11,500 百万円	△ 124 百万円	△ 1.0 %	23,000 百万円	△ 964 百万円	△ 4.0 %
	経常利益	(38)	1,700 百万円	134 百万円	8.5 %	3,100 百万円	1,099 百万円	54.9 %
	当期(中間)純利益	(39)	1,000 百万円	△ 6 百万円	△ 0.6 %	1,900 百万円	487 百万円	34.5 %

(当初業績予想を上方修正しております。)

以上